

第 2 学年 体育科学 学習指導案

2 年 1 組 指導者 大賀 拓也

単元 エンジョイ！チェンジミック（表現遊び）

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

表現遊びを、その特性に応じた楽しさや喜びの視点から捉え、運動遊びへの多様な関わり方と関連付けること

2 本単元で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿

本学級の子どもたちは、リズム遊びにおいて、軽快なリズムの音楽に乗って弾んで踊ったり、簡単な踊り方を工夫したりしながら、即興的に踊る学習に取り組んできた。このような子どもたちが、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊る学習に取り組む。このことは、表現遊びの特性に気づき、その楽しさや喜び、自他の表現のよさを味わうことにつながるであろう。

本単元は、身近な題材の特徴を捉えてそのものになりきって全身の動きで表現したり、友達と様々な動きを見付けて踊ったりする学習である。子どもたちは、これまでの学習や生活の経験を生かしながら、夢中になって題材を全身で表現する（創出）であろう。しかし、自分の表現のみで完結しやすいため、客観的にその特性や友達の表現に目を向け、自覚的に楽しさや喜びを追究することは難しいと考える。そこで、友達との関わりをとおして、題材になりきる楽しさや喜びを確かめたり、「する、見る、支える、知る」などの運動遊びへの多様な関わりから自他の表現のよさを味わったりする（受容）ことができるようにしたい。そうすることで、表現遊びを、その特性に応じた楽しさや喜びの視点から捉え、運動遊びへの多様な関わり方と関連付けることができる（転移）と考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 「音まねダンス」や「たまごダンス」では、題材の特徴を捉えやすい擬音語や変化を表す言葉を使って声をかける。そうすることで、夢中になって題材を全身で表現することができるようにする。【創】
- 題材になりきって踊る際は、その題材の特徴や全身を使った動き方を共有したり、見つけた踊りを見せ合ったりする場を設定する。そうすることで、題材になりきって踊る楽しさや自他の表現のよさを友達と共感的に捉えることができるようにする。【受】
- 単元の終末では、表現遊びの特性と運動遊びへの多様な関わり方について整理する。そうすることで、別単元においても、運動遊びの特性を意識し学習に取り組むことができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 身近な題材の特徴を捉え、全身で踊る学習に取り組むこととおして、題材になりきって踊ったり、簡単な踊り方を工夫したりすることができるようにする。
- 表現遊びの特性に気づき、その楽しさや喜び、自他の表現のよさを味わうことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○題材になりきって、全身で踊っている。	○簡単な踊り方を工夫したり、考えを友達に伝えたりしている。	○表現遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊っている。

5 指導計画（全3時間）

第1次 題材になりきって踊ろう【本時3／3】

6 本時案 【令和2年11月19日 9:20~10:05 体育館】

(1) ねらい 身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ることをとおして、簡単な踊り方を工夫したり、簡単な話にして続けて踊ったりすることができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
1 いろいろな題材になりきって動く。(15分) ・題材らしい動き ・即興的な動き	・今日もじゃんけんダンスからだね。Aくんがしていた動きを真似したよ。 ・音まねダンスは、風の音だ。途中で、速さを変えて動こう。 B <u>速さを変えると風らしさが出せるのだね。</u> ・たまごダンスは、ぬるぬるたまごだ。タコになって腰や首もくねくねするぞ。	○題材になりきれていない子どもには、友達の動きを真似るよう促す。そうすることで、題材らしさを感じることができるようになる。 【創】
どうすれば、○○らしさが表現できるかな？		
2 いろいろな題材になりきって踊る。(25分) ・題材らしい踊り ・考えたことの伝達 ・表現遊びへの関心	・やった、なりきりダンスだ。新しく背景が加わったのだから。 A その場に合った踊りができそうだね。 ・ぼくは、崖の背景でサルの決闘で踊ろう。Aくん、一緒に踊ろうよ。 ・今度は滝の背景。水遊びしながら踊ろうよ。 A <u>次はBさんたちの踊りを見よう。からまっている踊りがタコらしいね。サルの決闘もからまるように踊ったらどうかな。</u> ・よし、やってみようよ。 ・さっきよりも踊りに激しさが出てきたね。 A <u>からまるように踊ることで、激しい感じを出すことができたよ。</u>	○活動の途中で見つけた踊りを見せ合う場を設定する。そうすることで、題材になりきって踊る楽しさや自他の表現のよさを友達と共感的に捉えることができるようになる。 【受】
3 本時の学習を振り返る。(5分) ・表現遊びの特性と運動遊びへの多様な関わり方	どうしてそう踊ろうと思ったの？ ・Bさんの踊りを見て、参考にしたのだよ。 A <u>見合ったり教え合ったりすることで、なりきって踊れたから楽しかったね。</u> B 友達と一緒に踊れたことが楽しかったよ。 ・ <u>次からはマット遊びなのか。転がる楽しさが感じられるのではないかな。</u> A <u>マット遊びも、見合ったり教え合ったりすることで、エンジョイできると思うよ。</u>	○以下の視点で振り返るよう促すことで、表現遊びの特性と運動遊びへの多様な関わり方を整理することができるようにする。 【転】 ・楽しかったことやできるようになったこと ・その理由

(3) 板書計画